

3.3 「CFP-PCR の読み方ガイド」試作の検討

1. 試作の背景と目的

CFP 宣言の公開までは、表 1 に示すように 6 段階の工程が必要で、PCR の制定数の増加に伴い、係る人も対象者も増え、LCA やラベルの知識経験の少ない申請者（新規参入者）が増えている。CFP 宣言の対象製品が決まると該当する PCR を選択又は策定し、その PCR に従いデータ収集と算定が行われる。新規参入者の場合は、この第 3 段階のデータ収集や CFP 算定方法が記載されている PCR の内容の理解と解釈が大きな障害となり、第 4 段階のデータ収集と CFP 算定に進めず、参加を断念する場合がある。

そこで、新規参入者でも容易に参加・実行できるようにして、更なる CFP 普及のために、CFP-PCR の読み方ガイドを作成することにした。

今回提案する読み方ガイドは、CFP 宣言公開までの以下の 6 段階の過程で、第 3 段階の PCR の読み方を支援することにより、申請企業/対象製品の拡大と、実務者の CFP 宣言の公開までの作業時間を削減することを目的としている。

表 1 CFP 宣言の公開までの工程

段 階	内 容
1	CFP 対象製品を選定する。
2	該当公開 PCR の選定する（無い場合は PCR 策定の申請が必要）
3	該当 PCR の内容を理解する。
4	該当 PCR に基づきデータ収集・CFP 算定し、検証書類を作成する。
5	CFP 検証・合格を得る。
6	CFP 宣言の登録・公開する。

2. 試作の考え方

現行の PCR について、その解釈を平易に解説し、理解しやすくすることで参加のハードルを下げることを目的に、利用者を想定して、以下の 2 種類の読み方ガイドを試作する。

- (1) 「PCR 読み方ガイド」の本格版（具体的に CFP 登録を考えている人用）
- (2) 「PCR 読み方ガイド」の概要版（CFP に興味を持っている初めての人用）

3. 試作のポイント

3. 1 CFP-PCR 読み方ガイド（本格版）

利用者として CFP 登録を考えた事業者を想定し、実例を基に、CFP 検証書類作成までの手順を、わかりやすく説明する資料を試作する。

実例


PCR：汎用 PCR 加工食品

選定理由：消費者に身近で、且つ CFP 公開数が多い製品分類の汎用 PCR を選定。

CFP 宣言例：「ウインナー」

選定理由：店舗公開の実績を持ち、公開 CFP 数が多い製品を選定した。

	計算までの流れ	
	一般的な言葉で表現すると	
計算する対象範囲を決める	1	どの製品を計算するの？
	2	どの単位で計算するの？
	3	付属するものは？
	4	ライフサイクルでどこまで計算する？
	5	計算から除外できる項目は(カットオフ)？
共通な計算ルールを知る	6	どんなデータを収集(一次データ)するのかな？
	7	計算に用いる二次データはどうしよう？
	8	個々にデータ取れないときは(配分)？
	9	様々なケースがあるときは(シナリオ)？
ライフサイクル各段階のデータ収集の各論	10	原材料の調達段階では、具体的にどうする？
	11	製品の製造段階では、具体的にどうする？
	12	製品の流通段階では、具体的にどうする？
	13	製品の使用段階では、具体的にどうする？
	14	使用後の廃棄段階では、具体的にどうする？
CFP宣言の表示	15	CFP宣言では何を主張できる(追加情報)？
	16	CFP宣言では何を記載できる(登録情報)？



算出ルール	
CFP-PCRに置き換えると	
名称: 汎用PCR 加工食品	
CFP-PCRの目次	
章	項目
1	適用範囲
2	対象とする製品種別の定義
3	引用規格および引用CFP-PCR
4	用語および定義
5	製品システム 5-2 カットオフ、 5-3 ライフサイクルフロー図
6	全段階に共通して適用するCFP算定方法 6-1～6-5 一次データと二次データ 6-6 配分、 6-7 シナリオ
7	原材料調達段階に適用する項目
8	生産段階に適用する項目
9	流通段階に適用する項目
10	使用・維持管理段階に適用する項目
11	廃棄・リサイクル段階に適用する項目
12	CFP宣言方法 12-1 追加情報、 12-2 登録情報

図1 「CFP-PCRの読み方ガイド」の概要(目次)

3. 2 GFP-PCR の読み方ガイド（概要版）

利用者として一般消費者（LCA 初心者）や CFP 宣言を検討中の企業を想定し、上記試作の本格版を参考に、平易な言葉と図を駆使して、だれでも理解できる導入的な資料として概要版を試作する。

以下は、現時点でのイメージ図（たたき台）です。

